

そうべつ議会だよ



第6回壮瞥町チャリティーカラオケ大会

■ 第4回定例会のあらまし	2
■ 一般質問	4
■ 委員会レポート	6
■ 薫風	8



壮瞥町議会
ホームページ



壮瞥町議会
YouTube



壮瞥町議会
facebook

No. 76

□ 2020年2月 □

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

定例会のあらまし

議案審議

福祉灯油購入助成 昨年と同様に実施！

令和元年第4回定例会は、12月12日から13日までの2日間の会期で開催されました。

壮瞥町情報公開・個人情報保護審査会委員の選任など議案8件、諮問1件、意見案1件を審議し、それぞれ可決されました。

また、2名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。

第4回 臨時会

第4回臨時会は、10月10日に開催され、工事請負契約についてのほか議案全4件を審議し、それぞれ可決されました。

第5回 臨時会

第5回臨時会は、11月25日に開催され、壮瞥町短時間勤務会計年度任用職員との給与及び費用弁償に関する条例の制定についてのほか議案全2件を審議し、それぞれ可決されました。

壮瞥町短時間勤務会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

質疑

嘱託職員・臨時職員と会計年度任用職員との違いについて、また、期末手当等の支給について。

答弁

全国的に会計年度任用職員制度の整備を求められていることから、現行の嘱託職員・臨時職員制度を移行するもので、できるかぎり現行制度を維持しつつ、新制度へ移行する。また、この制度によって期末手当を年間1、45月分支給できるようにする。

第4回 定例会

壮瞥町情報公開・個人情報保護審査会委員の選任について

委員について、中山雄三氏、日景正好氏、松下一郎氏及び富田るみ氏の4氏を任命することに同意しました。

質疑

審査会の開催状況について。

答弁

直近3年間での審査会の開催はなし。審査会は、開示請求に対する不服申し立てがあった場合に開催する。開示請求は、平成28年に3件あったが、すべて開示している。その後は、開示請求はない。

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本年の人事院勧告に基づき、①勤労手当の0.05月分引上げ、②初任給及び若年層の俸給月額引上げ、③住居手当の支給対象となる家賃額の下限を引上げ、その原資を用いて手当額の上限を引上げる条例が可決されました。

質疑

平成18年以降の給与構造見直しで、全国的に地域民間給与との反映、勤務実績の給与への反映などの取



第4回定例会の様子

組を推進するとされているが、今回の条例改正に当たってどのような検討、協議があったのか伺いたい。

答弁

人事院勧告を考慮し、勧告とおりの給与改正となっている。本町職員の給与を国家公務員の給与とまったく同じにはしなくても良いが、職務給の原則、均衡の原則に基づき、北海道人事委員会の判断等も加味した条例案とした。

勤務実績の給与への反映は現在実施していないが、できるだけ早い段階で人事評価の結果を活用し、給与への反映に努めたい。

令和元年 第4回

質疑

住居手当の改正は、人事院勧告では公務員宿舍使用料の上昇を考慮してなっているが、本町の実態にそぐわないのではないのか。

答弁

改正によりほとんどの職員で住居手当が減額となる。見送りも検討したが、人事院勧告に則り給与改正してきた経緯を勘案し、勧告のとおり住居手当を改正することとした。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議員及び特別職の期末手当を0.05月分引上げる条例が可決されました。

質疑

期末手当の引上げについて、どのような検討をされたのか。

答弁

人事院勧告により国においても特別職の期末手当が0.05月分引上げられること等を勘案したものである。

質疑

これまでも一般職の職員と同様に人事院勧告に準拠する形で議員及び特別職の期末手当が改正されてきた経緯も承知しているが、地域の経済状況等を勘案した上での判断があるべきと考えるが如何か。

答弁

これまでの経緯及び近隣市町の実況を踏まえ、改正の提案をした



工事発注状況

令和元年8月から
令和元年11月まで

() 内は予定価格

- 建部B団地4号棟屋根葺替・外壁塗装工事
7,257,600円(7,484,400円)
(株)中山工務店
- 電気機械計装設備更新工事
58,025,000円(59,356,800円)
新栄・堀口特定建設工事共同企業体
- 町道関内蟠溪線水道施設移設工事
33,264,000円(33,847,200円)
道栄・壮建・堀口経常建設共同企業体
- 町道四十三山線道路改修工事
1,276,000円(1,298,000円)
壮建興業(株)
- 町道滝之町中島2号線道路改修工事
1,276,000円(1,298,000円)
壮建興業(株)

ものであるが、今後はいただいたご意見を参考に適切に対処していきたい。

本件は討論の上、賛成多数により可決されました。

公の施設に係る指定管理者の指定について

質疑

そうべつフレッシュプラザが、そうべつ情報館の指定管理者を受けるに当たり要望又は改善点の指摘等があったかについて伺いたい。

答弁

施設内の改修、駐車場の増設、国道沿いの誘導看板の増設、停電時のプレハブ冷凍庫の非常電源の整備の4点の要望があった。財源確保に努め、対応を検討したい。

令和元年度壮瞥町一般会計補正予算(第8号)について

3,737万2千円追加

補正後の予算総額

41億7,602万1千円

持ち家住宅取得奨励交付金

13万円追加

質疑

今年度の実績について。



壮瞥中学校ふれあい保育体験

答弁

5件230万円の交付実績となっている。

福祉灯油購入助成費

110万円追加

福祉灯油購入助成の対象世帯を昨年度同様に、高齢者世帯、重度障害者の同居世帯、ひとり親世帯の町民税非課税世帯としました。

意見書

・新たな過疎対策法の制定に関する意見書
1件の意見書を採択しました。

【農業及び観光振興対策について】

Q 農業担い手育成の具体的取り組みは

A 地域担い手育成センターの体制整備と機能強化



森 太郎

議員
農業振興策としての担い手育成センター機能強化の具体的取り組み内容は。

議員
自営就農に結びついていくための課題と対策は。

町長

町長
農業が未来に向かって持続的に発展していくためには、意欲と能力のある担い手の育成確保が重要であり、これまでも、道担い手育成センターが実施する就農フェアにおけるPR活動や就農希望者のためのシェアハウスの整備や資金の貸し付け事業等を行ってきたが、新年度では高校や農業委員会、農業改良普及所などの農業指導機関とも連携した「地域担い手育成センター」の組織体制を整備し、就農相談から研修・実習の受入支援体制の機能を強化していく。

町長
町内の就農においては、就農時の資本装備や栽培技術力、販路等でのリスクが少ない雇用就農での新規就農を勧めている。地域担い手育成センターでは、雇用就農から自立支援へのキャリア支援体制を構築し、優れた担い手の育成・確保を図っていききたい。

議員

議員
農業基盤整備等についての考え方は。

町長

町長
意欲ある農業者が創意工夫し経営発展を目指せるよう、農作業の

省力化、生産コスト低減に向けた経営基盤の整備を計画的に進め、本町農業の体質強化を図っていく必要がある。令和元年度では生産施設の整備や農業用排水施設の整備を実施しており、2年度でも農作物の生産施設等の整備と新技術導入による営農技術体系を構築し、地域の特色を生かした、農業生産体制を確立していく。

議員

議員
昭和新山地区の観光振興の具体的な進め方は。

町長

町長
昭和新山地区商店街は、店舗の老朽化、事業者の後継者不足などから空き店舗が発生しており、観光地としての魅力を高める必要があると認識している。地元事業者の意向を確認しながら魅力ある観光空間の形成、火山防災・減災機能の強化等を第5次まちづくり総合計画の中に位置付けして対応していきたい。

議員

議員
町内に立地・進出予定の観光企業の見通しは。

町長

町長
壮瞥温泉地区に保養施設を買収した関係企業は令和2年度に着工し、3年度に営業開始の予定。洞爺湖温泉地区に立地予定の企業は、設計の見直しを行い、最終段階にあるので、具体的計画の提示を受けてから、庁内での調整協議を進める。



令和2年 壮瞥町成人式

一般質問

〔人事評価の現状と今後の在り方と活用は〕

Q 人事評価の活用できない理由は

A 公平性を担保しながら人事評価の活用を進める



佐藤 志

〔総務課長〕
勤勉手当は全ての職員同率で

規則で規程を設けている4段階の根拠になる評価が行われていないため、現状の勤勉手当の支給率は、基本的に全職員同率で支給している。

一人ひとりの職員が、自ら変革していくことが大切と考えるが。

〔総務課長〕

一定の時間はかかるが活用を

人事評価の活用は全国的にまだ半数程度であるが、逆に言うところの5割の自治体できているということから、当然本町としてもこの人事評価の結果を、それらの勤勉手当等に反映していくように、今後とり組んでいきたい。

評価で一定の公平性、納得性等が担保されることが必要で、現行制度の在り方、評価の指標など今一度検証することが必要と考える。仮にそれが来年度からとしても、結果が反映されるのは一年後となり、一定の時間はかかるが、早い段階で担当課として努力したい。

〔町長〕

人事評価は組織目標の達成と人材育成

評価は組織目標の達成の面と人材育成が重要で、本町も人材育成プランを設定しており、それと併用して活用を図る環境づくりが大切と考える。

公平性を確保するための評価者、被評価者が制度についての認識の共有化、制度を正しく理解・公平性のある制度の運用を基本として、活用促進に向けて取り組みたい。

〔議員〕

人事評価の取り組みは

町は人事評価制度の導入と人件費抑制の取り組み状況は。

〔町長〕

他の自治体に先駆けて

他の自治体に先駆けて平成19年度より人事評価制度導入、業績評価による各職員の業務目標の明確化、工程管理、能力評価による自己評価等を活用して実施している。

〔議員〕

人事評価の方法は

人事評価はどのような方法で実施しているか。

〔総務課長〕

課長補佐以下の職員

一次評価は課長

二次評価は副町長で

各課の課長補佐以下職員の評価は、一次評価を課長、二次評価は副町長、課長は副町長が実施している。

〔議員〕

人事評価の活用は

地方公務員法や町の職員の給与に関する条例の規則で活用を定めているが現状は。

〔町長〕

評価の難しさから活用に踏み込めていない

昇任・昇給・勤勉手当などへの結果の反映は出来ていない。全国的に見ても、職員の士気高揚や適性な人事管理が前提となるため、多岐にわたる行政事務を統一の基準ではかり、かつ、それを複数の評価者で運用していくという難しさがあり、壮瞥町も職員全体の理解促進、評価基準の統一化などを見直して実施していきたい。

〔議員〕

活用できていない要因は

人事評価の難しいことは理解できるが、法律の改正や町の規則などからして、その一例として勤勉手当の支給はどのようにしているか。



第10回壮瞥町町民ゆきがっせん大会

委員会レポート

仲洞爺キャンプ場

暴風雨により、キャンプ場内の枝折れや倒木のおそれのある枯木7本、枯枝10本と、町道仲洞爺キャンプ場線沿いの6か所の危険箇所今後の処理について説明を受け、状況を確認しました。令和2年度に予算計上し、キャンプ場の営業期間前に対象木を処理し適切な安全対策、環境整備を行う予定です。

仲洞爺団地の自転車置場

仲洞爺団地の自転車置場は団地建物内の側面にスペースが設けられているが、開口部が大きく、雨風や雪が入り込む状況を確認しました。

壮瞥中学校

校舎・体育館は昭和52年の完成から築43年が経過し、老朽化が進んでおり、また、廊下の幅が通常よりも広く、熱効率が悪い状況を視察。大規模な改修は難しい状況でも適切な教育環境整備に努めるよう要請しました。



堆肥センターの視察

堆肥センター

堆肥販売額、平成30年度は6,98千円で、令和元年9月末時点では5,095千円で例年並みに推移しているが、今後は、生ごみ堆肥の取扱いをどうするかが今後の課題となっています。

旧久保内中学校校舎

町内の農業法人を中心とした「玉ねぎ生産加工組合」が玉ねぎ加工施設として活用する計画があり、旧校舎内は事務所、研修室、従業員休憩室等とするほか、メモリアルギャラリー・地域住民交流室等での活用が検討されています。また、旧体育館を選果施設とし、グラウンド側に貯蔵施設と加工施設を新設する予定となっており、今後は、校舎等の用途変更等の諸手続きを行い、売却に向けた事務が進められる予定です。



11月5日に総務・経済合同常任委員会で所管事務調査を実施しました。その概要について報告します。

玉ねぎ育苗施設

壮瞥町玉ねぎ生産加工組合が事業主体となり、幸内地区に育苗施設を建設し、集团的に玉ねぎの生産、加工を行い、付加価値を高めた生産体制を構築するものです。

総事業費は94,124千円で、育苗ハウスの他、ブーム式自動かん水装置2台を購入し、国の中山間地域所得向上支援事業補助金（補助率4.5/10）を受けて整備されます。

本施設の整備により、作付面積を拡大し、産地の形成と、他産地との競争力を強化し、所得の向上を図り、令和3年度までに作付面積を40ha、収穫量を2,200tとし、令和8年頃までに作付面積を60haまで拡大したいとのことです。

国道453号(蟠溪国道3工区)

蟠溪国道3工区、(仮称)白水橋橋梁工事が行われている所を中心に工事の進捗状況を確認しました。

非常勤職員制度の改正

地方自治法、地方公務員法が改正



旧久保内中学校体育館の視察

され非正規公務員の運用制度が統一化され、一般職非常勤職員（嘱託職員）が廃止され、会計年度任用職員制度（新設）に移行することのこと。

広域廃棄物処理施設の 老朽化対策

広域廃棄物処理施設（メルトタワ）の老朽化対策として、新中間処理施設が本格稼働する令和6年10月までの間に、現施設の処理機能が停止しないよう改修し、また、最終処分場の未埋め立て部分の遮水シートが、長期間の露出により紫外線や風雨の影響で劣化したため改修が必要とのこと。



国道453号（蟠溪国道3工区）の視察

研修報告

11月21日に洞爺湖万世閣レイクサイドテラスにて開催された胆振管内町議会議員研修会に参加しました。

「スマート農業の展開 について」北海道で の実証」

山本 勲

胆振管内町議会議員研修会に参加し、今後の日本の農業、スマート農業について研修をしてきました。

スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のことです。日本の農業の現場では、課題の一つとして、担い手の高齢化が急速に進み、労働力不足が深刻となっています。

そこで、スマート農業を活用することにより、農作業における省力・軽労化を更に進められる事が出来るとともに、新規就農者の確保や栽培技術力の継承等が期待される効果とされています。

スマート農業の一例としては、人工知能による複雑な作業のロボット化、運動の習熟機能により、これま

で機械化できていなかった果菜類や果樹の収穫等の複雑な作業や、画像認識により、赤いトマトなど収穫すべきもののみを収穫するロボット化など紹介していただきました。

壮瞥町でも担い手不足や少子高齢化が進んでおり、農業だけの事ではなく商業、観光業でも時代の変化に対応していくことが大切だと改めて思いました。



胆振管内町議会議員研修会

松本議員 総務大臣表彰受賞

松本議員が、町村議会議長として12年以上在職し地方自治の発展に功労があったと認められ、令和元年10月4日に総務大臣表彰を受賞されました。

壮瞥町議会議長としては初めての受賞者となります。

12月12日の第4回定例会前に長内議長から松本議員へ表彰状が伝達されました。

誠にありがとうございます。



松本議員へ総務大臣表彰の伝達

薫風

『群青の星空☆壮瞥』

壮瞥町天文同好会 会長 田中 文夫



壮瞥に来てから40年、今思う事は自分の一生のなか

で大きな時間をこの町で過ごせていて本当に良かったと思っています。

壮瞥に来て最初に思った事は、町の人たちの田舎特有の優しさです。

おかげさまで、自然、文化に深くかかわることができています。

さて、今から25年前に「森と木の里センター」が完成し天体観測ドームが併設してありました。星好きだった私には千載せんざい（一遇いちごう）の出会いだと感じました。偶然にも星の案内、設備管理を頼まれ、「壮瞥町天文同好会」を立ち上げ今日までボランティア活動が続けており

ます。

活動が続ける中、環境省の星空調査で平成8年度には全国三位の空の透明度であることが分かりました。これはお金で買えるものではありません、町の宝と思いました。しかしながら夜の事、昼間の疲れ、習い事等、素晴らしい事と思いながらも、町民の皆さんが普段足しげく訪れるのは大変なことと思いました。

そうした中、教育委員会主催で設備を利用して星の知識向上に、月一度の「夜空を見る集い」が始まり20年以上にわたり続いております。そこまでしなくても、たまに星を見てみたいという方には、毎週金曜日に一般公開しております。このような地道な努力が実を結んで来たのか、今では、この星空の美しさを求め

て日本国内、外国からも沢山の方々にお越しただいており、町の宝が日本の宝、大げさに言えば世界の宝に。

そして5年前からは、このドームにアニメ「天体のメソッド」の主人公が住んでいると言う設定から、センターに宿泊しながら沢山のファンの方々に来ていただいております、町の活性化にも貢献して頂いていると思います。

これもひとえに町全体で「自然を大切に」をモットーに頑張っている結果だと思っています。

この素晴らしい状態がこれからもずっと続くように願っています。

壮瞥町では、星空環境観察を個人でも出来るように、世界初でここが考案した方法、「周極6星座認定」試験を開催しております。

この様な取り組み等を認めて頂き、令和元年8月に弟子屈町で開催された環境省主催の「星空の街・星空の町」全国大会で、高田宮妃殿下のご臨席、ご祝辞を賜り、全国評議会表彰を頂きました。

国を挙げての応援と理解し、更に尽力して「群青色の星空・きらめく星座の街☆壮瞥町」の素晴らしさを伝えて行きたいと思っています。

これからも皆様のご理解と応援をお願いしたいと思います。

編集後記

▼令和2年を迎え、今年も五穀豊穰の年であることを念願、この町に住むすべてのみなさんが、日々幸せな生活を祈念。

▼壮瞥町が抱える課題は多く、みなさんの口から最初にでる言葉が「人口減少」。これは壮瞥だけでなく、全国共通の課題と認識することが必要。

▼この少ない町民のみなさんが、地域でまた隣近所でお互いに助け合い声を掛け合い、みんなが「あいさつ」の出来る町づくりを、大人から実践することが必要。

このことが近い将来壮瞥町を襲うであろう噴火活動時に役立たせるためにも。

▼年々進む高齢化社会。この社会を構成する高齢者のみなさんが、永い人生の経験・持てる力を、地域づくりに参加、住み良いまちづくりのために尽くすことが、今求められているのでは。

▼子どもたちが登下校時に「おはようございます」「こんにちわ」と元気に挨拶する姿に、これからの「元気なまちそうべつ」を託したい。

(T.S)